

平成29年度第1回秋田県立近代美術館協議会（要旨）

日時：平成29年7月21日（金）13：30～15：00
会場：秋田県立近代美術館 研修室

出席者：会長 木村雅美 横手市教育委員会教育指導部学校教育課長
副会長 亀沢修 小坂町町史編さん室長
委員 浅野壽里 アート教室「森のおと」主宰
〃 泉一志 秋田魁新報社文化部長
〃 澤谷ゆりか 秋田ふるさと村総務部総務課長
〃 澁谷和之 澁谷デザイン事務所代表
〃 松田砂織 えがおの花書道教室代表

事務局 小野寺康 生涯学習課 生涯学習・学芸振興班 学芸主事
〃 仲町啓子 近代美術館 館長
〃 三浦直 〃 副館長
〃 保泉充 〃 学芸班 主任学芸主事（兼）班長
〃 柴田卓也 〃 総務班 副主幹（兼）班長
〃 佐々木賢一 〃 〃 副主幹
〃 茂木亨 〃 〃 主査
〃 西野美佳 〃 学芸班 学芸主事
〃 藤井正輝 〃 〃 〃
〃 奈良香 〃 〃 〃
〃 小林紀子 〃 〃 〃
〃 鈴木京 〃 〃 〃

<次 第>

- 1 開 会
- 2 館長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 協 議

(1) 平成28年度近代美術館事業の概況について

(2) 平成29年度近代美術館事業の概要について

三浦副館長が、パワーポイントを使用して(1)(2)について一括して事業等を説明

(3) (1)・(2)について一括の協議・質疑応答

- 5 閉 会

<協議概要>

■ 近代美術館のPRについて

年々入館者が減ってきており、今後も秋田県の人口減少に比例して減っていくことが予想される。これまでとは違った意識を持って、美術ファンのみならず、新たな客層へのアプローチを試みて欲しい。例えば、美術とは全く関係の無い他分野の方々をゲストに迎える（美術と他分野とのコラボレーション）のも一つの方法ではないか。

→例) 女性の姿にフォーカスした展示であれば化粧品メーカーとのコラボなど

昨年度、収蔵庫にあるたつこ像を拝見し感銘を受けた。例えば、それを展示して、みんなでデッサンする機会があるだけでも素晴らしいこと。美術館としてのメッセージ性が強く、近代美術館のエネルギーも感じられる気がする。

→コレクション展と関連付けて検討していきたい。

昨年度の会議で要望したツイッターやフェイスブックの活用による情報発信が実現されている。フェイスブックをよく拝見しているが、いかんせん活字の情報が多いように感じる。やはり活字だけだと見る側としてはあまり目に留まらず、PR力としては弱い。画像を多くすればもっと多くの人が見ることになると思うので、さらなる改善・推進に期待したい。（※ホームページを見るのはあらかじめ美術館に行くことを決めている人で、詳しい情報を知りたい人が見るのだと思う。）

→近代美術館のツイッター利用率は生涯学習課所管の他館に比べてもずば抜けて高いというデータがある。その効果について今後分析し、入館者の向上に利活用できればと考えている。

リノベーション事業の進捗状況をフェイスブックに載せるのも一つの方法ではないか。

「公共工事の観光化」というのも流行っている。工事の状況の写真を載せる発想は面白い。

→新たな客層を取り入れる一つの方法として良いヒントをいただいた。

やはり、入館までのアプローチ部分が気になる。さみしい。そこに工夫を凝らすことでさらなるチャンスがあると思う。また、展示品の写真撮影が可能であれば口コミで広がって、入館者の増加につなげていくことも可能ではないだろうか。魅力ある施設としてのドキドキ感があると嬉しい。

→ほとんどの内覧会で撮影可能にしており、それが口コミで広がることに期待している。